

P3-2A

小児看護における倫理的看護実践に関する認識および研修の課題

松森 直美¹⁾、嶋 和城²⁾
県立広島大学¹⁾、広島都市学園大学²⁾

【目的】

子どもの知る権利の尊重を意図した看護師による子どもへの説明の実施は2005年7割、2010年9割以上と増加している。そこで、現在の心理的準備を含む倫理的看護実践の認識と研修の課題を明らかにするため調査を行った。

【方法】

全国の小児診療科をもつ医療施設1500件の卒後2年目以上の看護師各2名に調査依頼書を配布しWEB調査(2023年2月~12月)を行った。

➤ 調査内容: 著者による調査(2010)の内容を一部改変し、検査や処置時の心理的準備と倫理的看護実践の状況、研修の要望等について選択式および一部記述式の回答を求めた。

➤ 分析方法: 数値データはMicrosoft Excel(2016)とSPSS(Ver.29)で集計した。記述回答は質的分析を行い、共同研究者間でカテゴリーの妥当性を確認した。

【倫理的配慮】本研究は所属大学研究倫理委員会(第22MH053号)の承認を得て行った。

【結果】回収数422、有効回答数347(有効回答率11.6%)

所属病院	件数	%
一般病院	295	85.0
小児専門病院	3	0.9
診療所(開業医)	35	10.1
障害児施設	8	2.3
その他	6	1.7

	件数	%
常に必要だと思う	224	64.6
状況に応じて必要である	123	35.4
あまり必要でない	0	0.0
まったく必要でない	0	0.0

	件数	%
看護師	272	78.4
医師	230	66.3
心理の専門家やプレイスペシャリスト	18	5.2

	件数	%
子どもへの「プレパレーション」の概念や心理的準備の方法を学んだ	284	81.8
子どもへの一般的な情緒的支援の方法(遊び、関わり方など)を学んだ	205	59.1
不安を軽減するための一般的な心理学の内容を学んだ	150	43.2
上記のいずれも学んだ記憶がない	145	41.8

	件数	%
オンデマンド動画の視聴	229	66.0
オンラインでのライブ配信	176	50.7
資料やパンフレットの閲覧	152	43.8
職場以外の対面形式での講義	126	36.3
職場での技術演習	116	33.4
職場での対面形式での講義	110	31.7
職場以外の技術演習	98	28.2
職場での事例検討	97	28.0
職場以外の事例検討	90	25.9

	件数	%
家族への関わり方・対応方法	275	79.3
子どもへの心理的準備の発達段階別の方法	252	72.6
子どもの反応への対応方法	237	68.3
子どもへの声かけなど関わり方	236	68.0
子どもの救急処置	201	57.9
子どもの発達の特徴	193	55.6
子どものフィジカルアセスメントの方法	168	48.4
子どもへの注射や点滴など痛みを伴う処置	165	47.6
子どもへの日常的なケア	151	43.5
安全管理・転倒など事故防止の手段・方法	129	37.2
日常的な倫理的看護実践の方法	120	34.6
倫理的な問題の解決方法	118	34.0
子どもの権利の歴史的変遷	38	11.0

心理的準備・倫理的配慮の実際と有用性 (5)
プレパレーションの実際(3)
パンフレットの有用性(2)
心理的準備・倫理的配慮の難しさ (15)
子どもの個性に応じた関わり方の難しさ(5)
倫理的配慮の実践の難しさ(4)
人員不足や医療者間の理解の差による子どもへの関わり方の難しさ(3)
混合病棟での子どもへの関わり方の難しさ(2)
親への関わり方の不十分さ・難しさ(1)
研修開催と受講の要望 (39)
オンライン・オンデマンドでの受講希望(15)
研修開催と受講希望(14)
学習機会がない現状と受講希望(8)
学生指導に活かす知識習得の要望(2)
研修会での学習内容の要望 (75)
注射や処置場面での子どもへの効果的な関わり方や方法 (18)
子どもへの倫理的配慮の注意点・方法(12)
親・家族への対応の仕方 (11)
プレパレーションの方法・具体例(10)
発達障害・精神疾患をもつ児への対応(9)
子ども・保護者への説明の判断や方法 (5)
事例を通じた学習(4)
他院での実践(4)
遊びの専門家の資格や関わり方(2)

日本学術振興会研究費助成基盤研究(c)(課題番号23K10136)「多様な小児看護の場における倫理的看護実践強化プログラムの構築」により実施しました。発表演題に関連し開示すべきCOI関係にある企業・組織及び団体等はありません。

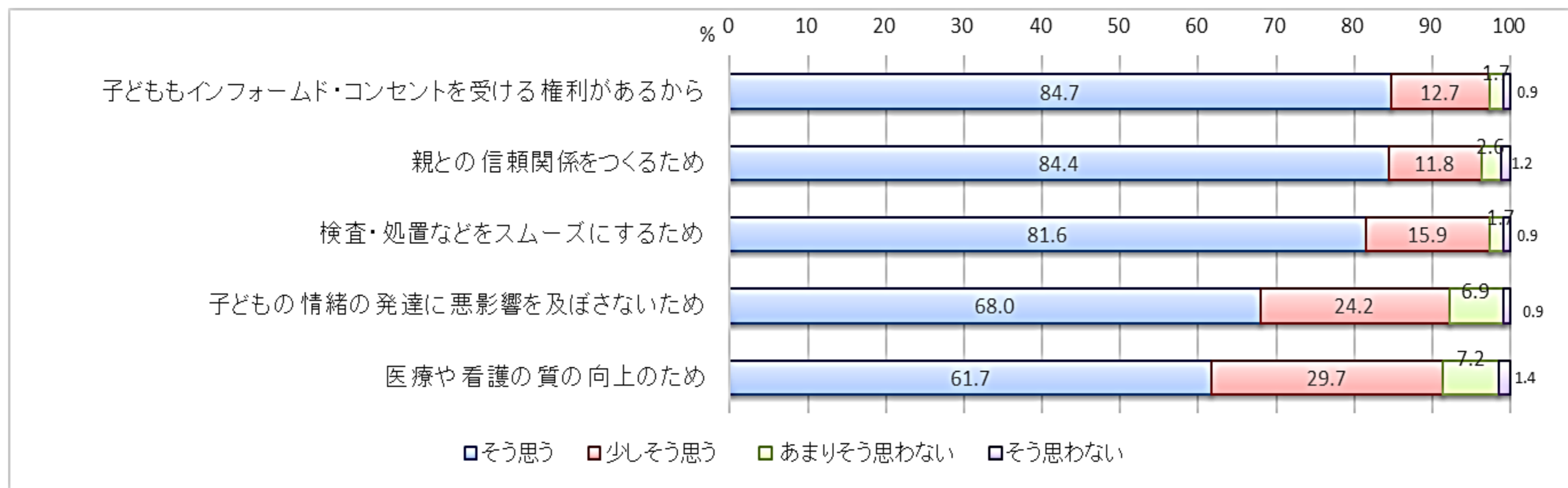


図1. 子どもへの心理的準備の実施理由 (n=347)

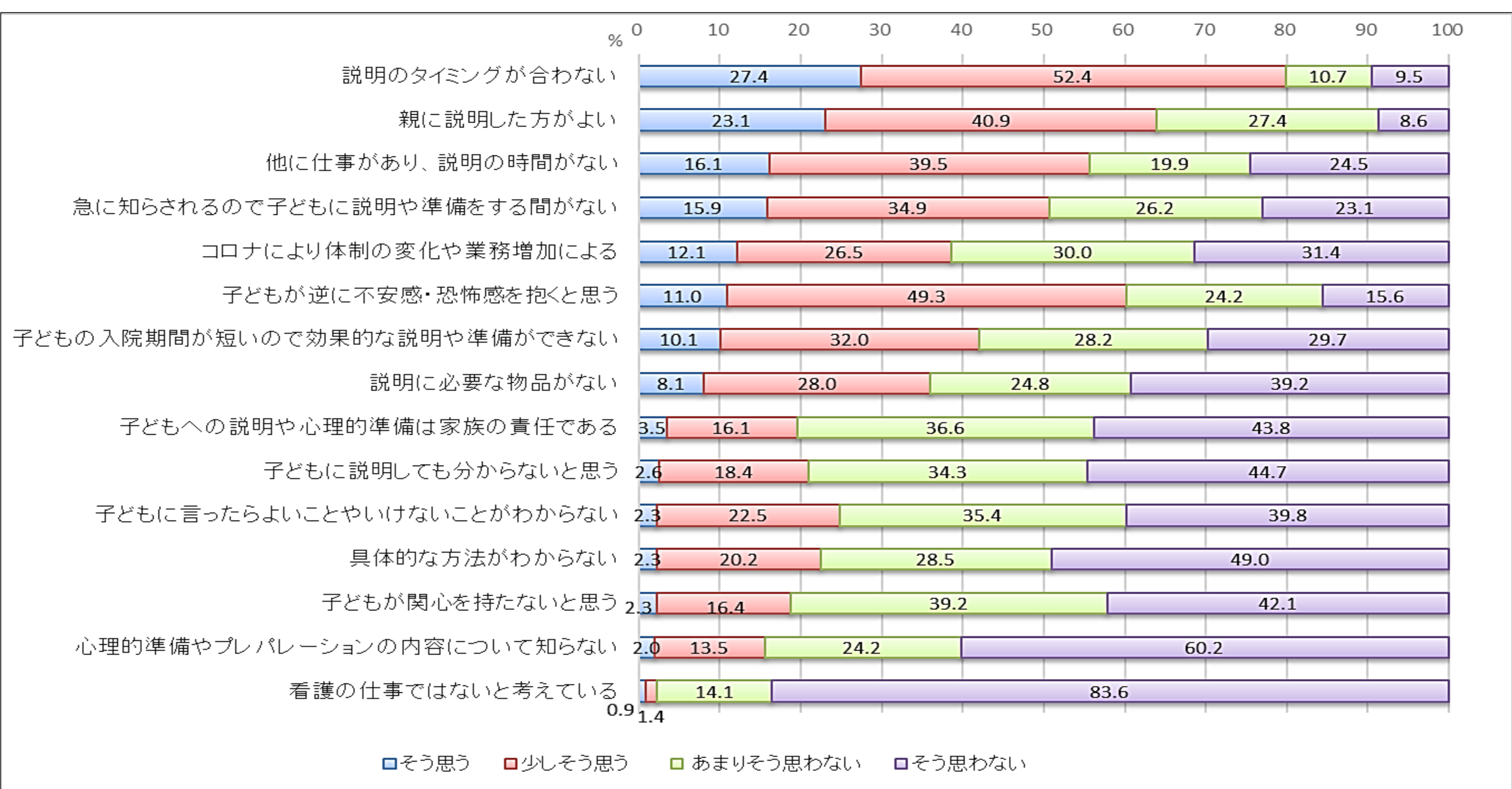


図2. 子どもへの心理的準備が実施できない理由 (n=347)

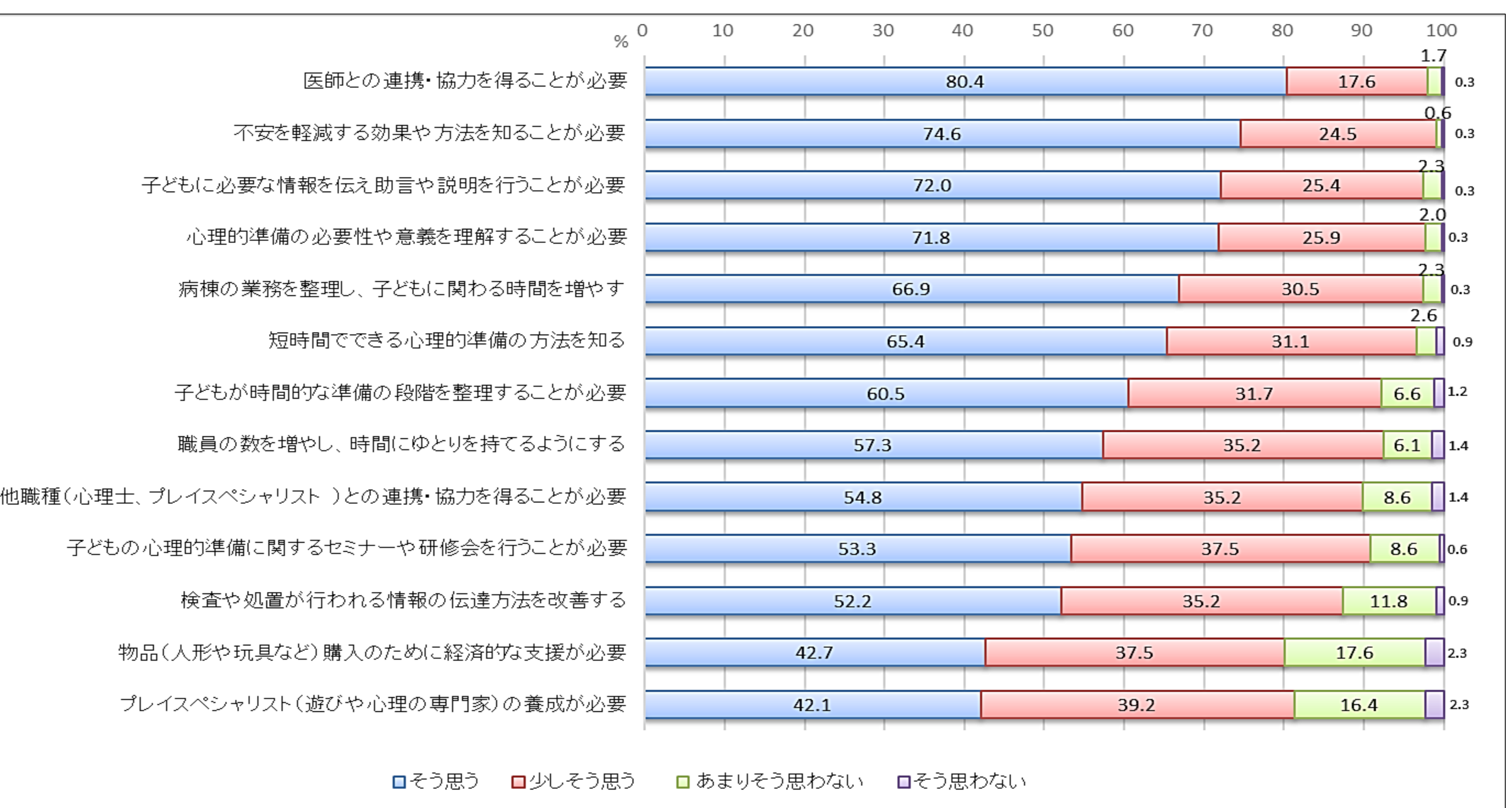


図3. 子どもへの心理的準備を実施するために必要なこと (n=347)